



議会だより

かみかわ かみかわ



神河町マスコット
キャラクター
「カーミン」

第52号

平成29年10月12日



越知川の鮎に舌つつみ(越知谷小学校)

平成28年度決算 2~6

議案の審議 7~9

委員会の活動 10~14

4人が登壇 いっぱん質問 15~19

平成28年度決算認定

84億6039万円(一般会計)

第81回定例会は、9月5日から28日までの24日間の会期で開催されました。

各委員会報告、諸報告に続き、町からは報告4件、人権擁護委員推薦の諮問2件、条例制定・改正4件、神河町過疎地域自立促進計画策定1件、契約変更2件、平成29年度補正予算12件、平成28年度決算認定13件、また、議員発議1件の計39件が提案されました。

決算認定では、監査委員より各会計ともに適切に処理されているとの報告を受け、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。

また、4人の議員による一般質問が行われました。

神河町過疎地域自立促進計画は、過疎地域に指定されたことにより有利な過疎債を利用するための計画策定であり、今後4年間で過疎債が利用できる事業を網羅している。

基金(貯金)残高 41億8200万円
 地方債(借金)残高 109億5000万円

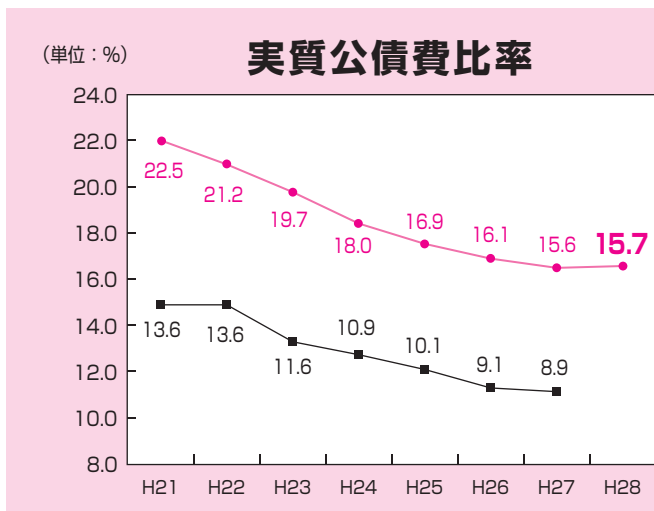
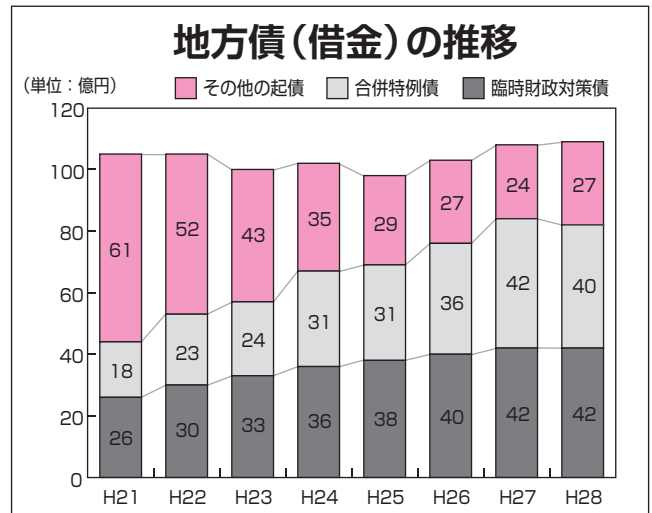
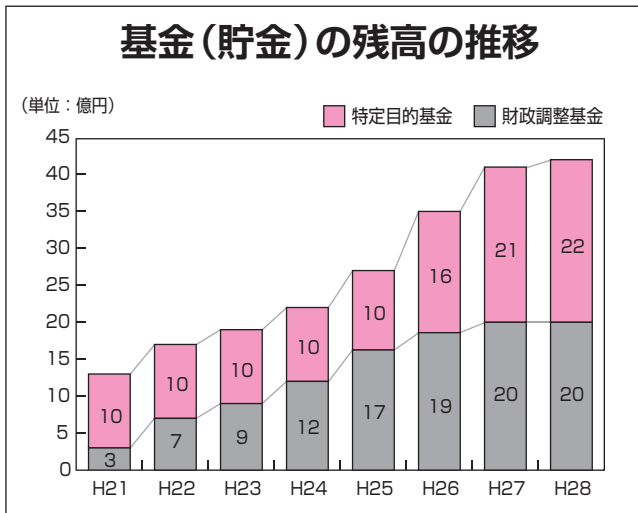
平成28年度各会計決算認定13件は、議長・議会議出監査委員を除く10人の議員による決算特別委員会に付託され、9月13日、14日の2日間で審議が行われました。

また、平成29年度神河町一般会計補正予算(第4号)は総務文教常任委員会に付託されました。補正予算では、過疎債を利用するための予算の組み替え、家庭用生ごみ

処理機の購入補助が好評なための増額などが集中審議され、委員全員の賛成で可決されました。

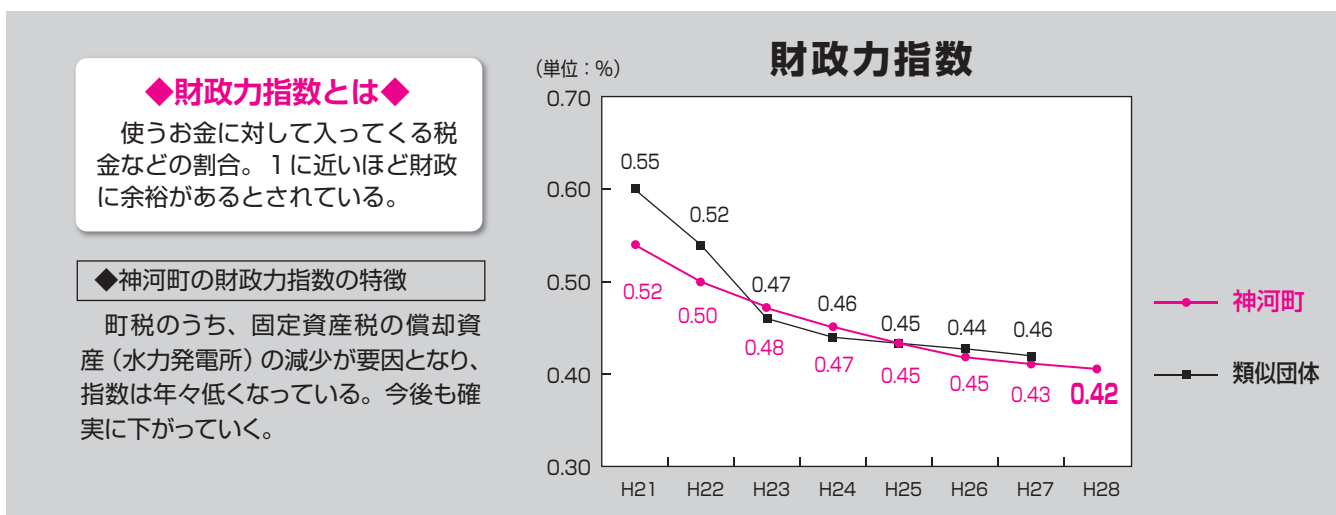
町の財政グラフ

貯金が増える一方、借金も増加傾向



◆**実質公債費比率とは**◆
 税などの収入に対して借金の返済に使ったお金の割合。

◆**神河町の実質公債費比率の特徴**
 旧両町の大規模事業による町全体の起債残高の元金償還が多額なことから、比率が高く類似団体と比べても高い水準となっている。この比率を下げるために「公債費負担適正化計画」に基づく繰上償還の実施などの取組により確実に改善している。



決算特別委員会

主なQ&A

Q 滞納分の町税の徴収実績は。効果はあがっているのか。

A 訪問や文書による催告を行っている。税理士の指導を受け徴収技術向上に取り組んだが、結果として徴収率が上がらなかった。

Q 滞納繰越分の徴収率が低い。

A 長期滞納の増加に加え高額滞納も発生している。さらなる徴収強化を図るため、滞納処分の強化を図っていききたい。

Q 観光振興施策による税への波及効果は。

A 観光施策による税への波及効果と特定するのは非常に困難である。

Q 財政調整基金の運用のあり方は。

A 国の方針が変わろうとしている。今後は特定目的基金に積立しながら財産運用していく。

Q 全国大会出場等の横断幕が多数掲げられている。その内、表敬訪問に來られた方だけに、町長交際費でお祝い金を渡すのは不公平ではないのか。

A 教育委員会の内規では、横断幕による顕彰はあるが、報奨金の規定はない。今後検討していく。



本庁舎に掲げられた横断幕

Q 創業支援を2件受けておられるが、希望者全員に支援したのか。

A 商工会が実施する創業支援セミナー受講者で、金融機関による事業の継続性・経営判断等を受けられた方は支援している。

Q 地域介護福祉空間整備費補助金の内容と設置場所は。

A 認知症対策用の立ち上げれば職員に知らせる介護ベッドである。うぐいす荘、あやめ苑、よん神河に設置。

Q 公立神崎総合病院があることによる普通交付税と特別交付税ルールの算入額は。

A 普通交付税2億1890万9000円、特別交付税1991万9000円。

Q 有害鳥獣対策の効果が目に見えてこない。大規模な駆除(捕獲)はできないか。

A 大規模駆除は考えていない。赤田区に設置している猿の地獄檻は効果が出ている。地元と調整し設置場所を増やしていきたい。

Q かみかわハートフル商品券は地域経済循環という面では良い施策であるが、買いたくても買えない方がたくさんいる。なんとかすべき。

A 公平な運用になる工夫ができないか商工会と協議する。

Q 入込客100万人に向けて観光協会の体制を強化すべき。

A 組織強化に向けて話し合いを続けている。来年の予算編成に向けて詳細な検討をする。

Q 川の駅利用者が増え喜ばしい一方で、地元の方の清掃管理など負担が増えている。委託料の見直しを考えているか。

A 実態を調査し、地元の方に迷惑が掛からないように対応できるところがあれば実施したい。



川の駅(越知)

Q 砥峰高原のススキ保全調査の結果は。

A あまり成果は出ていない。若干ススキの生育が良くなってきたと感じる。

Q アグリイノベーション事業は先駆的事業である。事務としてこなすのではなく事業として展開すべき。

A 農家の生産性・所得を高めるためにやっている。経営モデルになれるよう事業展開していく。

Q 28年度は新人職員を8名採用している。選考過程は。

A 30名程度が受験している。一次試験である一般教養・作文で平均点以上をとった方が二次試験の面接を受ける。面接も点数化しており上位の方から採用している。

Q 臨時・嘱託職員を82人、約1億5000万円の経費が人件費とは別に物件費としてあがっている。正規職員同様、人件費として計上するべき。

A 人件費は職員の定員適正化計画に基づいて人員を配置し、臨時・

嘱託職員については、補助的な部分として物件費であげている。

Q 正規職員の時間外手当が約3000万円支払われている。一方で、臨時・嘱託職員を75人雇用している。定数があるので、正規で雇えないのも理解できるが、一度定数を見直すべきではないのか。

A 定数は行財政改革で決めているものなので、大事にしていきたい。最小の経費で最大の効果が出るよう取り組んでいる。

Q 越知谷幼稚園は3歳児を受け入れているのに、他の幼稚園では受け入れている。

A 越知谷幼稚園に限らず園児数が5人以下になれば受け入れる。

Q 越知谷小学校水路改修工事によってグラウンドへの浸水はなくなったか。

A 通常の雨では浸水しない。大雨の際は上流の井堰を閉めれば問題ない。



完成した山側の水路（越知谷小学校）

Q シングルマザー移住支援事業で移住された方は何人おられるのか。

A 28年度は2組4人、29年度は2組6人の方が移住された。移住された後もシングルマザー支援員や移住支援プランナー等が関わりを持って定住していただけるように動いている。

Q シングルマザー移住支援事業で、ドローンを使った仕事づくりがあったか。

A まだ準備段階であるが、ドローンを活用し、測量や工事の進捗管理といった事業展開を考えている。

Q 町内在住のシングルマザーにも支援を。

A 移住してこられた方や共励会等を交えて意見交換の場を作る準備をしている。そういった場で現状を把握し、対策が講じられるのではとされている。

Q 若者定住などの人口増施策を精力的に進めている一方で、神崎病院では出産ができなくなる。地域活性化のためにも何とかすべき。

A 国が出産できる病院を集約しようとしている。マリア病院と連携しているので、分娩の心配はない。

Q 委託事業の完成検査はどうなっているのか。成果物の検証が十分にできていないと感じる。職員の能力・技術向上が必要ではないか。

A 職員で専門性の高い事業をチェックするのは難しいが、発注者の責任として全力で検査に当たっていく。

Q 行財政改革で集約された投票所の投票率が少し悪くなってきたと感じる。見直しできないか。

A 現時点では見直しは考えていない。

決算特別委員会提言

地域創生を成功させる熱意が見えてこない。

1. 管理職が先頭に立って事業を成功に導くこと。
2. 各課の連携強化を図ること。
3. 当初の考えにとらわれず、常に検証し、総合的な見地に立って事業展開を図ること。

町長答弁要旨

- ・ さらに強い意識を持ち、管理職が先頭に立って各課組織間の連携の下、町民の皆さまとの協働に努め、心から喜んでもらえるよう引き続き職員一丸となって取り組んでいく。
- ・ 展開する事業の「効果・成果・達成度」を検証し、課題があるものはその内容を明らかにするとともに、さらに分析を進めるなど、業績評価指標に基づき事業実施を効果的に進めていく。

監査委員の付記した意見(要旨)

監査委員 清瀬 茂生
藤原 日順

- 1 事務事業管理シートを課内管理で活用し、PDCAサイクルを順調に回す。
 - 2-1 内部統制システムの早期確立と運用の徹底を図る。
 - 2-2 窓口での現金收受・郵便切手の扱いは、ダブルチェック・受払簿による管理で事故を未然に防止する。
 - 2-3 超過勤務が常態化しないように職員の適正配置・事務分掌に十分留意する。
 - 3-1 公共施設等総合管理計画に沿って、補修、更新、統廃合を着実に進める。
 - 3-2 平成29年度開始貸借対照表では、資産評価の正確性を高める努力を。
 - 3-3 学校統廃合後の跡地利活用では、PFIを含め多角度から検討し、方向性の早期確立に努める。
 - 4-1 各課連携を強化し、適切な債権管理を。同じく、児童虐待・ネグレクトも、関係各課の連携を強化し適切な対応を。
 - 4-2 政策調整会議では、一層の充実・機能強化を図る。
 - 4-3 地域包括ケアシステムの構築に向けて、関係各課の密接な連携による精力的な取組を。
 - 5-1 中播北部クリーンセンターの山積する課題に積極的に取り組むとともに、継続的なゴミ減量化に期待する。
 - 5-2 補助金交付団体の会計処理について、所管課が責任を持って成果を確認し、内容によっては補助金額の見直しを検討する。
- 6 人口減少対策は評価できる。引き続き積極的に施策展開を。

一般会計補正予算(第4号)

下水道、病院会計への補助金・出資金や、コンポスト購入補助金等の補正で、歳入歳出それぞれ5316万9000円を増額するものです。
また、当初予定の起債を一部過疎債に変更しています。

一般会計補正予算(第5号)

台風18号の豪雨で、雨量計及び水位計の送信データに一部異常が見受けられたため、機器の改修経費等の増による補正で、歳入歳出それぞれ952万1000円を増額するものです。

人権擁護委員の推薦

新弘正氏(中村)と岡部久美代氏(本村)を推薦したい提案があり、両名とも「適任者である」と意見を付しました。任期は平成30年1月1日からです。



新 弘正 氏



岡部 久美代 氏

第19期(株)神崎フード 経営状況報告

総売上は、13億2996万円で、前期より1095万円の減(0.8%)、最終利益は1218万円で、4年連続の黒字となりました。

第21期(株)グリーンエコー 経営状況報告

入込客は17万7938人で、前期より約4800人の減、営業利益は101万円の黒字となりましたが、約80万円の繰越損失が残り残りました。
グリーンエコー笠形は、

4月から指定管理者が神姫バスグループ共同事業体が変わったため、(株)グリーンエコーは、11月頃には清算終了登記等が行えるように諸事務を進めています。

神河町過疎地域自立促進 計画の策定の件

この計画は、過疎地域としての総合的、計画的な自立を図るための方針と対策を明らかにすることで、同法に基づく財政的な特別措置(過疎対策事業債)が受けられるため、必要となる過疎地域自立促進計画を策定するものです。

神河町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例制定の件

農業委員会等に関する法律が平成28年4月に改正されたことに伴い、30年4月以降の農業委員及び推進委員の定数を定めるものです。

現在の農業委員21人体制から、農業委員14人と推進委員7人の21人体制に変わります。

次の改選期から、これまでの公選制から選任方法が変わり、地域の農業者や農業団体等に候補者の推薦を求め、公募の中から町長が議会の同意を得て農業委員14人を任命することになります。

また、推進委員の7人は、農業委員会から委嘱することになります。

峰山高原スキー場センターハウス新築工事請負契約締結事項の変更の件

4月29日(株)片岡建設と契約締結した工事内容に変更が生じたため、契約金額を690万6600円増額し、総額を2億2614万6600円にするものです。

道の駅「銀の馬車道・神河」整備工事請負契約締結事項の変更の件

5月29日(株)神名工務店姫路支店と契約締結した工事内容に変更が生じたため、契約金額を5720万7600円増額し、総額を1億832万7600円にするものです。

議員発議で国へ意見書

「全国森林環境税」の早期導入を

意見書

我が国の地球温暖化対策については、2020年度及び2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されているが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

しかしながら、森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林吸収源対策及び担い手の育成等山村対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

このような中、政府・与党は『平成29年度税制改正大綱』において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」との方針を示したところである。

もとより、山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取組は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題である。

よって、下記の制度創設について実現を強く求めるものである。

記

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月28日

兵庫県神河町議会

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆

報告番号	件名
第7号	平成28年度(第19期)株式会社神崎フード経営状況報告の件
第8号	平成28年度(第21期)株式会社グリーンエコー経営状況報告の件
第9号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告の件
第10号	平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告の件

諮問番号	件名
第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める件
第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める件

議案番号	件名
第65号	神河町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例制定の件
第66号	神河町道の駅条例制定の件
第67号	神河町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定の件
第68号	神河町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件
第69号	神河町過疎地域自立促進計画の策定の件
第71号	道の駅「銀の馬車道・神河」整備工事請負契約締結事項の変更の件
第72号	平成29年度神河町一般会計補正予算(第4号)
第73号	平成29年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算(第1号)
第74号	平成29年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
第75号	平成29年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
第76号	平成29年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
第77号	平成29年度神河町土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
第78号	平成29年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)
第79号	平成29年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計補正予算(第1号)
第80号	平成29年度神河町水道事業会計補正予算(第2号)
第81号	平成29年度神河町下水道事業会計補正予算(第2号)
第82号	平成29年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第1号)
第83号	平成28年度神河町一般会計歳入歳出決算認定の件
第84号	平成28年度神河町介護療育支援事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第85号	平成28年度神河町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第86号	平成28年度神河町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第87号	平成28年度神河町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第88号	平成28年度神河町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第89号	平成28年度神河町老人訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第90号	平成28年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第91号	平成28年度神河町寺前地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第92号	平成28年度神河町長谷地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第93号	平成28年度神河町水道事業会計決算認定の件
第94号	平成28年度神河町下水道事業会計決算認定の件
第95号	平成28年度公立神崎総合病院事業会計決算認定の件
第96号	平成29年度神河町一般会計補正予算(第5号)

発議番号	件名
第3号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書

◆賛否の分かれた議案等◆

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
					藤原裕	藤原日	山下	宮永	藤原資	藤森	小寺	松山	三谷	小林	廣納	安部	
第70号	神河町峰山高原スキー場センターハウス新築工事請負契約締結事項の変更の件	8	2	可決	○	○	○	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	-

○は賛成、×は反対です。12番、安部議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

委員会の活動

総務文教

8月17日開催

教育課

・越知谷小学校の今後のあり方は、地域としては存続を望むが、最終的には、保護者の意向を尊重する。今後、地域やPTAによる協議を進めていく。

・中学生が通学途中、加納区内の県道歩道で、転倒負傷した。自損事故として扱い、保護者も了解している。



改良が望まれる歩道(加納区内)

Q 議会でも県道改良の要望が続いている。町はどんな体制で臨んでいるのか。

A 建設課、住民生活課、教育課で要望しているが困難な状況である。他の観点での要望も検討する。生徒への安全指導は引き続き実施する。

Q 道路の改良が進まない現状である。通行方法の変更はできないか。

A 小学校を含め、通学路、通学方法を検討したい。

Q 全国大会に出る子どももの顕彰規程を検討中とあるが内容は。

A また、第三者による統一した見解が必要かと思うが。

Q 検討中である。政策調整会議で協議する。

Q 臨時職員やシルバード対応している体育施設等での利用料金の扱いはどうなっているか。

A 事故時の対応、出納員の辞令など、ルールに沿って行うべき。

Q 点検、再確認する。

情報センター

・ケーブルテレビ整備後の新料金は、平成30年度からとする。利用料、加入分担金とも軽減の方向で検討する。

Q 新料金設定の考え方は。

A 料金は神崎エリアの現利用料金を基本にしたい。加入分担金は、放送機器設置費で積算する。

Q 宅内工事が始まるが、その内容は。

A 工事までに地元説明会を実施する。

税務課

・口座振替推奨の対応は、他の収納と合わせ、9月の滞納整理委員会で協議する。

・税の収納状況は、現年度分は前年度並みだが、滞納分は、厳しい状況である。

会計課

・現金等の保管状況は、適切である。

総務課

・人事評価は、5段階区分とし、規則で定める職員を対象とする。

・危機管理システムの取組は。

①「報告・連絡・相談」がしっかり行われているか。

②課内の危機管理マニュアルを確認したか。

③危機管理が実効性のある取組を進めているか等を各課に提出を求め調査を行った。

Q 人事評価制度は5段階になっていて、職階によって区分するの

A 今後検討するが、リンク分けはないと考えている。評価の力点は、目標設定に対する業績評価においている。趣旨を踏まえて対応したい。

Q 設備工事の業者ランク付けは町内業者が6社なので意味がないというのだが、県では経営状況を審査しておかないと公共工事入札の資格がもらえない。点数によって金額が変わるはずだ。

A その通りだが、町内の業者は、管工事に絞っている。

設備業者のランク付け、工事の発注についても、検討が必要と意見を述べています。

Q 接遇研修も実施しているが、住民から厳しい意見も聞く。窓口対応を再考されたい。

A 職員個人の差もあるが、組織対応を心がけたい。

民生福祉

8月10日開催

公立神崎総合病院

「公立病院のネットワー
ク化」

・来年4月以降、婦人科
及び妊婦健診は継続。分
娩は姫路聖マリア病院と
連携する。

・医薬品の共同購入は、
岡山市民病院が窓口とな
り、来年10月1日から2
年間実施する。

Q 6月末までの予算執
行状況は。

A 3ヶ月間の入院収益
は、前年度に比べ約
5000万円の減額であ
る。

Q 今後の増収対策は。

A 可能な限りの夜間救
急の受入や、平均在
院日数の延長など検討し、
総合的判断をしながら収
入アップを図りたい。全
職員で取り組んでいく。

Q 電子カルテ導入で、
医師が画面ばかりを
見る状態になることを懸
念する声も。

A 操作負担の大きい医
師には補助職員を配
置して運用し、接遇も含
めた指導もしていく。

健康福祉課

・判断力が十分でない高
齢者や障がい者等の権利
を擁護する「成年後見支
援センター」設置に向け
た検討会が始まる。

・自主的に健康づくり運
動を実施する地域を拡大
するための指導、支援
をする「地域おこし協力
隊員」を11月に採用予定。

町の積極性を期待するが

Q 障がい者の施設整備
は、社協が「活動・

交流の拠点」、いづみ福
社会（ゆうかり作業所）
が「グループホーム」を、
それぞれで考えている。

町が総合的な調整をす
べきでは。

A 健康福祉課では、こ
れらの施設を集約し

た形でできればと考えて
いる。栗賀小学校跡地を
利用する案もあるが、現
在検討中のPFI事業
（公共事業の民間活力導
入）の関係もあり、話は
進んでいない。

町内の介護施設でも、

Q 看護師や介護職員の
確保ができず、利用者の

受入抑制や廃業を選択す
るなど深刻な状況だが。

A 当町の介護保険利用
者は今がピークと考

える。外国からの研修生
等を受け入れるなど、事
業所自らの取組を期待す
る。また、職員確保に向
けての協議も進めたい。

住民生活課

・子ども子育て支援関連
事業の要保護児童対策
は、保健師が中心となり、
関係機関と実務者会議、
ケース会議を実施してい
る。

・コンポストの購入費補
助台数は、7月21日現在
で117台となり、9月
増額補正の予定。

早く町内の均衡を

Q 町管理の街路灯と防
犯灯について、旧町

エリア間の均衡調整を要
請してから一年経過して
いるが。

A 関西電力に資料提供
を依頼し、今から調

査をしていく。街路灯と
防犯灯の位置づけも含め、
全町の均衡化が図れるよ
う努めたい。

Q 防災行政無線の戸別
受信機を玄関に設置

している例があると聞く
が、災害時に問題ないか。
A 居間では受信しづら
いので、玄関に設置

した。
ロッドアンテナを伸ば

すか、ダイポールアンテ
ナ（外部アンテナ）を設
置して、場所を変更して
もらう。



こつこつ貯筋教室

産業建設

8月8日開催

建設課

工事の安全指導は

Q 道の駅の工事現場等で事故が起きている。町としての安全指導はしているのか。

A 業者には、毎朝安全啓発をし、気を引き締めて作業に当たるよう指導している。

県道の除草時期に問題

Q 町内クリーン作戦までに、除草作業はすべきでないか。

A 区長からも要望が出ており、県土木にお願いしている。再度強くお願いをしていく。

上下水道課

ヨーデルの森はどうする

Q ヨーデルの森の動物糞尿を、公共下水に統合できるのか。

A 検討中である。

地域振興課

《農林業係》

猿捕獲の新型兵器

Q 猿檻と地獄檻の違いは。

A 猿檻は一頭捕獲用で、地獄檻は一度に多くの捕獲（赤田区で20頭）ができる。効果があるが、管理が難しい。

《商工観光係》

観光PRに「のん」さん

Q 「のん」さんの費用は、約500万円である。

A 広報の紙面写真も含むのか。著作権等細かく指定されていて、外に出る部分はチェックがかかる。広報の写真は許可をもらっている。

乾杯条例が活かされない

Q ユズ酒・ブルーベリー酒の販売店を増やせ。

A 酒類販売許可や法人登録が必要。また、決算が赤字のところには許可が出ないので、販売所が限られる。

川遊びのマナーの悪さ

Q 越知の川の駅を含みマナーが悪すぎる。指導はできないのか。

A 区からも苦情が出ている。ひどい時は使用禁止等の看板や張り紙をして呼びかけているが、規制まではできない。

地籍課

山林調査の現場手当は

Q スズメバチ被害や急斜面の登り降り等に危険手当は出ているのか。

A 事故があれば保険・公務災害で対応している。現場手当は出していない。関係各課と検討していく。

ひと・まち・みらい課

地域おこし協力隊の活動

Q は、たくさん地域おこし協力隊の方々が、神河町のために頑張っているが、活動内容が町民に見えてきていない。何か工夫をすべき。

A 町広報誌で少しずつ報告はしている。協力隊の方々は3年後の姿を描き、これから活動実践をしていく。また、活動発表会のようなものをやりたい。



1度入ったら出られない地獄檻（赤田区）

公立神崎総合病院北館 改築事業調査特別委員会

8月22日開催

10月中旬から工事始まる

地元にて工事説明会開催

工事説明会の内容

①作業は、原則8時30分から18時まで。休日は日曜日・お盆・年末年始。

②解体は、アスベスト含有調査を行い結果を提示し、油圧圧砕機の使用、仮囲いに防音シートや防音パネルを設置し作業中は散水を行い騒音・粉塵の対策に努める。

③工事現場前の道路は整備や維持管理を行い交通誘導員を配置し、一般車両の通行を優先させる。

④車両進入路は、10トン未満は南側、大型トラック・トレーラー等は、旧栗賀小学校跡地で転回し北側から出入りする。

⑤工事の安全には細心の注意を払う。防火対策は管理者を定め、消火器を設置し万全を期する。



北館と中館の仮設通路工事

主なQ&A

Q アスベストと騒音はどのように対策は業者と徹底的にされているのか。

A アスベストは10年前の調査では含まれていなかった。再度調査したが含まれていなかった。騒音は、作業中の騒音を測り記録を残す。

過疎債の適用は

Q 過疎債を医療機器に充てることだが、病院改築には使えないのか。

A 将来の財政負担で事業との兼ね合いが出てくる。合併特例債もあり調整しながらやってみよう。

峰山高原スキー場整備 事業調査特別委員会

8月22日開催
現地調査及び事務調査

調整池工事

7月31日現在の進捗率は、1期工事95%、2期工事16%。
残土約1800m³は、地盤安定処理を行わず、乾燥させてから盛土処分をする。

造成工事

進捗率78%。
湧水対策の暗渠排水設置工事を約1724万円で随意契約を締結。

設備整備工事

リフト・人工降雪機・照明・電気等設備整備工事の進捗率は、1期工事67%、2期工事1%。
第二リフトの基礎補強工事を450万円で随意契約を締結。

センターハウス新築工事

進捗率25・9%。
建築確認による指導、地盤状況、安全性・快適性・利便性向上のための変更により約690万円増額。

輸送計画

臨時駐車場から寺前駅経由の輸送バスを、1日往路4便、復路6便を運行。繁忙期は増便予定。
乗車料金は、片道で中学生以上(大人)500円、小学生300円、幼稚園児以下は無料。

乗車予約は、町観光協会と峰山高原スキー場のホームページで受付。

案内看板

播但道神崎南インターを下りた所の電光掲示型看板の設置は、(株)協和エクスオと1706万4000円で契約。

国道312号の市川町境付近の看板は、土木事務所と協議中。(後日、貝野橋東詰町有地に決定した。)

電柱に巻き付ける看板は、国道312号、県道加美穴栗線などで49カ所を予定。

スキー場利用料

スキー場の利用料は、条例の金額の範囲内で指定管理者が決めるが、町内の中学生以下は無料にする予定。

(株)マックアースグループのスキー場の共通シーズン券4種類の販売申し込み受付を8月1日から開始。

携帯電話対策

携帯電話3社が、スキー場内でアンテナ設置を検討中。

委員会では、工事が遅れ気味なので12月16日のオープンに間に合うよう工程管理を、また、工事の内容変更が多く発生しているので、設計書作成段階で責任をもって精査をせよとの意見・要望をした。



工事現場視察

主なQ&A

Q 3コース合流地点からリフト乗り場の間のゲレンデが狭い。事故が起きるのではないか。
A 幅員20mは確保できず、勾配がゆるいので、さほど危ないという印象は持っていない。危なくない運営をしていただける。

Q 盛土にゴミのようなもので埋め戻していたが問題はないか。
A 伐採木の根をチップにする時に、木と土にふるい分け、その土を埋め戻した。2m以上の盛土があるので問題ない。

Q 種子吹き付けを止め、植生ネットに変えるのはなぜか。
A 種が中国、東南アジア産なので、環境を変える恐れがあるので使えない。肥料だけが入った植生ネットを張る。また、スキの種を採取しているのを播く。

Q 荒れた表面のままでは、雪崩の危険性が高い。もう少し調査をしていただきたい。
A 安定勾配で法面を打つので、土砂崩れにはならない。法面の状態を監視していきたい。

Q 第二リフトの基礎補強工事が、5カ所(4本10m)から3カ所(4

本5m)に減ったのはなぜか。
A ボーリングによる詳細調査をして、地盤の支持力を正確に出し、その結果により変更した。

Q (株)マックアースと地元雇用の話をしているか。
A 地元貢献については、いろいろと考えていただいている。

Q 年間共通グループシーズン券利用料の峰山高原スキー場の取り分はどうなるのか。
A グループ内のスキー場の数で均等按分する。

Q 輸送バスの運行費用を町は負担しなくてもよいのか。
A グリーンバスは、黒字になれば町に納入、赤字になれば町の補填を希望されている。今後、調整し詰めたい。

Q 臨時駐車場による駅前商店街の相乗効果をどう見込んでいるのか。
A 賑やかになることを喜んでおられるので、独自の取組を期待している。

Q (株)マックアースに委託した除雪業務の範囲はどこか。
A 町道峰山砥峰線とホテル周辺、駐車場である。(株)マックアースは、町内業者31社に入札依頼、3社の応札があり、大峰建設に決定した。

Q 他の町道は建設課が建設業者に直接委託している。町内全体のバンスでの疑問がある。ロータリー車は誰が使うのか。
A 除雪は、生活・住宅道路が優先され、峰山砥峰線は後回しになる。お客様に対するサービス面から、現場を一番把握している(株)マックアースに委託する。

ロータリー車の使用は、いろいろなケースが想定されるので、1年稼働してみないと分からない。特殊免許が必要なので、誰でも乗れない。



ホテルリラクシア上空から

みなさんの **声** を 町政に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は4人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
16	藤森 正晴 議員	①峰山高原スキー場工事と完成後の課題 ②河川に関係ある工事による補償は ③公立神崎総合病院電子カルテ導入に期待
17	小林 和男 議員	①県民みどり税の活用で山林整備を急げ ②神河の地形と水を活かした自然エネルギーでまちづくりを
18	藤原 裕和 議員	①町政への不満について ②しんこうタウン区に公園と公民館を ③これからの公立神崎総合病院のあり方について
19	松山 陽子 議員	①長谷駅周辺の環境整備を求む ②町内の公共性の高いトイレ等の環境整備を求む ③神河町赤十字奉仕団の現状と課題は

議会の本会議は傍聴することができます。希望される方は、本会議当日に議場入り口の傍聴人受付簿に住所、氏名等を記入してください。なお、定員は先着順に30人までです。傍聴者が20人以上となる場合傍聴席の準備が必要となりますので、団体での傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡ください。

本会議場での傍聴をお待ちしています。

Q

峰山高原集中豪雨時の災害対策は…



藤森 正晴 議員

町長 最大限可能な対策を講じたい

備えあれば憂いなし

Q スキー場工事完成後において、集中豪雨による濁水等が予想されるが対策はどうするのか。

A 地域振興課長 すでに、沈砂池を設置している。法面にも草等を植えて、対応していきたい。

飲み水は？

Q 太田池西側のメガソーラーは、設置場所下流の水源池に影響はないのか。

A ひと・まち・みらい課長 濁水による被害は今回なかった。今後は沈砂池の管理をしっかりし、流出を防ぎたい。

魚が苦しい…

Q 融雪剤・塩カル・雪解けによる冷水等の被害はないか。

A 地域振興課長 凍結防止剤の主成分塩素イオンは河川に流入する

と速やかに拡散・希釈する。濃度においても許容度を超過する値ではなく影響ない。

対応は何処？

Q 完成後、被害時の対応は、施工業者になるのか、行政対応になるのか。

A 地域振興課長 原因を究明し、適正な対応をしていく。窓口は行政側になる。

病院に電子カルテ導入 画面診察になり、心の診察が望めるか

町長 基本理念「和と奉仕」でやる

慣れるまでが大変

Q 関係職員は電子カルテ操作に自信を持っているのか。

A 病院事務長 慣れるまでの間、サポート体制を図りながらやっていく。会議や訓練を行い、万全を期するように取り組んでいる。



電子カルテ操作研修会

一寸した事が大に

Q 入力ミス等の早期発見対策はあるのか。

A 病院事務長 ミスがなければ、チェックが入る機能がある。また、

後の確認もしっかりする。記録などを見ることで、でき、情報の共有が図れ、良い医療サービスができる。

改善はできるのか？

診察待ち 状況を見て満足いけるようにしたい。

精算

待ち時間は短縮になる。

予約

予約センターではなく診療科でやるので、手間が省ける。複数予約は今までと同じ。

ひとこと

想定外は今や通用しない！
対策はしっかりと。

Q 県民みどり税を活用し 森林整備を急げ



小林 和男 議員

町長 災害に強い森林整備を進める



荒れた山林。間伐されていないため、下草が生えず保水力が無く洪水の原因になる。

Q 過去5年間に神河町の住民が県に納めた県民みどり税の合計額はいくらか。

A 町長 5年間の納税合計額は2441万円である。

Q 我が町において、過去5年間で県民みどり税による整備事業の総額はいくらか。

A 町長 4億1329万円である。

Q 県民みどり税の問題点はないか。

A 町長 みどり税を使い、所有者負担が無い、所有権が不明な山林整備は順調に進んでいる。

しかし、一部の山林所有者は整備により切り倒された木の代金が支払われない事を理由に、事業への協力を拒んでいる。

Q 平成18年の県民みどり税施行以来11年間の我が町における総事業費はいくらか。

A 町長 10億3058万円である。

神河の地形と水を活かした ミニ水力発電でまちづくりを

町長

各集落で設置し運営するのであれば応援する。

A ひと・まち・みらい課長 過疎債の前に、県の補助メニューの審査があるので、相談を受け付ける。

Q ミニ発電機を設置し、教育に役立てては。町長 私人としては教育に役立てたいと考える。



ミニ水力発電

ひとこと

ミニ水力発電のデモ展示のようなもので観光面に視点を当てた話が今回はできなかった。



町政への不満について



藤原 裕和 議員

Q 住宅取得等で少し早く新築しただけで、何の恩恵も受けず、不公平との切実な声も多い。

A 町長 この支援事業は平成27年度からで、国の交付金を活用して2分の1の補助金を受け、年度内着工、年度内完了の条件で行い、施行日以前の救済はできなかった。現在は制度の創設に周知期間を6ヶ月は取ることを基本にし、年度をまたいで工事完了した場合でも2分の1の補助が受けられる制度を新設している。格差は正の町税の減免は、実施すれば地方交付税が減額となり現実的でない。

Q 新野駅利用の電車通学や遠距離バス利用は、交通費の負担が多い。何とか無料の方と同じ扱いにできないか。

A 教育長 負担を無料にすれば混乱を招くし、徒歩通学との線引きは非常に困難である。今後、少子化が進む中で安

全面を第一に考え、無料でなくても一部負担を含め検討を進めたい。

Q 旧町から新しい区としての整備計画がなく、分譲宅地を購入された方に迷惑をお掛けしている。町として新しい区の若い住民に対し公園・公民館の無償設置ができないか。

しんこうタウン区に公園と公民館を：

A 町長 法幢寺横の土地を公園用地及び公民館予定地としている。公民館の設置については、自治会の立ち上げ時に役場政策会議で、建設用地は町有地を無償提供し、建設費用は他の区との均衡から地元負担金を3割とすると回答させていた。子育て世代の住宅地でもあり、皆様の意向を確認し、実際にご利用いただける整備に向けた調整を実施してまいりたい。

Q これからの公立神崎総合病院のあり方について：

Q 当町に公立総合病院があることは強みで、住民にとって安心するところだが、これまでの病院運営や分働の中止など不安も多い。多くの不採算部門を抱え、休日・夜間体制や組織の改革・改善強化を図らなければならぬが、経営方針など見解は。

A 町長 北館改築計画に併せて、地域医療構想と地域包括ケアシステムの役割で新たな病院

づくりを取り組む。具体的には、現状の病床数155床から140床に減らし、効率化を図る。また、北館改築に併せて地域医療センターを設置し、介護・看護・福祉施設等と連携を図り、拠点づくりをめざす。病院では総合診療部を充実させ、かかりつけ医の役割をして在宅までの包括的医療に取り組む。経営改善では、経営形態の見直しの検討を始め、地域に根ざした信頼される病院づくりに邁進したい。



公園・公民館予定地

ひとこと

若者世代で不安・不満の声があちこちで聞こえるが…

Q 長谷駅トイレ等の 環境整備も早急に



松山 陽子 議員

町長

利用促進計画を踏まえ、できるところから
取り組みたい



改良が望まれるトイレ（長谷駅）

JR所有地内の道路（駅下）は、5月に舗装修繕と側溝修繕されたが、満足のいく状態ではないと感じている。

A 町長 平成29年度に「長谷駅利用促進計画」の策定を、長谷地区の振興を考える会に委託しており、その中では長谷駅周辺の環境整備も検討事項となっている。

Q 長谷駅の利用客が少ないことを理由に、平成24年から、上り下り共に4本の列車が駅に停らず、高校生を含む利用客は不便な状態が続いている。利用促進のためにも、早急な駅前のトイレの改善や道路の舗装修繕が必要と考えるが。

維持管理面についてJRに要望し、町として必要な措置があれば、検討したい。また、トイレも整備が必要と考える。計画の内容や議論経過をふまえ、できるところから取り組みたい。

利用する側に立って トイレの環境整備を

町長

積極的に
取り組んでいく

Q 駅を含む町管理施設のトイレ内の、荷物置き場やフイッティングボード（着替え台）等の有無を点検し、利用する側に立った整備を望むが。

A 町長 「福祉の町づくり条例」等関係法令の中では、荷物置き場やフイッティングボードの設置は、義務ではなく推奨となっている。

しかし、観光の町・住

みよい町にするために、障害をお持ちの方や高齢の方、赤ちゃんを連れた方などが不自由なく利用いただけるよう、トイレ等の環境整備には積極的に取り組んでいきたい。

A 町民生活課長 まず、オスメイト機能（人

口肛門保有者等の着替え用）や、おむつ交換台・ベビーチェア等も含めた整備について、利用状況やニーズ調査を行う。

そして、スペースを調査した上で、整備施設や整備器機の優先順位を考

町管理27施設の状況

- ・ おむつ交換台 12ヶ所
- ・ ベビーチェア 6ヶ所
- ・ 大きめの荷物置 3ヶ所
- ・ フイッティングボード
- ・ （道の駅に設置予定）
- ・ オスメイト機能 1ヶ所
- ・ （公立神崎総合病院）

赤十字奉仕団 の課題は

町長

活動の周知
と賛同者の
入団

Q 26年度から再編された町赤十字奉仕団の、活動上の課題はないのか。

A 町民生活課長 現在団員は21人。（男性

7人、女性14人）活動は、熊本地震支援活動・ひとり暮らし高齢者のつどい・献血協力や研修等々。災害発生時には3年間で身につけた技術を活かした支援となるが、団員数が増えれば、支援内容の充実と拡大が図れる。

ひとこと

トイレ情報を親切に発信すれば、安心して遊びに来てくださる方も増えるかと…

主な議会日程

11月

7日(火) 産業建設常任委員会

8日(水) 民生福祉常任委員会

9日(木) 総務文教常任委員会

10日(金) 公立神崎総合病院北館
改築事業調査特別委員会

峰山高原スキー場整備
事業調査特別委員会

12月

5日(火) 議会運営委員会

8日(金) 第82回定例会
(提案・質疑等)

18日(月) 総務文教常任委員会
(付託)

20日(水) ~ 21日(木)

定例会(一般質問)

26日(火) 定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります。



いっぱん質問 ケーブルテレビ放映

下記のとおり再放送が行われます。ぜひご覧ください。

《11月7日(火)》

- ① 藤森 正晴 議員 午後7時00分～
- ② 小林 和男 議員 午後8時00分～

《11月8日(水)》

- ① 藤原 裕和 議員 午後7時00分～
- ② 松山 陽子 議員 午後8時00分～



広報公聴活動調査
特別委員会

委員長	藤原 資広
副委員長	三谷 克巳
委員	山下 皓司
委員	藤森 正晴
委員	小寺 俊輔
委員	松山 陽子

あ
と
が
き

10月1日、町内では一番早いであろう地元の八幡神社の秋祭り。
小学生以下の子どもが3人だけの小さく静かな村も、この時ばかりは子どもも御興でにぎやかになり、子ども相撲が始まる頃には、外孫や親戚も加わり、住人の倍近くの人が境内に。
最後が、30歳前後の若者による(20年振り?)裸に廻しを着けての奉納相撲となり、大いに盛り上がり無事終了。
年々高齢化が進み、村の維持管理や年間行事の継続を心配されているのはどこも同じかも知れません。
しかし、みんなを笑顔にする行事は工夫しながらでも続けたいものです。それも準備運営する側がワクワクしながら…。

(Y・M)

